公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プライマリーclubやちよ中央		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数) 21人 (70%)
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	時間ごとに何を行うか明確なカリキュラム制をとっており、見通しがもちやすい。 ルーム内の座席位置を工夫し、必要に応じて選択できるようにすることで柔軟に過ごしやすい場所を選ぶことができるようになっている。	タイムスケジュールや座席位置など、利用児童に情報が分かりやすい掲示物の設置を行っています。	来年度はタイムスケジュールは変更せず、カリキュラムの質向上に努めます。
2	非常時や災害時に際して、定期的な対応訓練を行っている。指導員だけでなく利用児童にも考えさせることのできる訓練になっている。	火事の避難訓練では通報対応を利用児童のいる場で行い、防犯対応訓練では制服非着用の不審者役が参加することで、職員児童問わず真剣に防災意識について考えることができていました。	集団療育のメリットを活かし、共に学びあう場を引き続き作っていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の入れ替わりが多く、利用児童や保護者に不安を感じさせてしまうことがあった。	職員の入退職が多く、変化しやすい時期がありました。	在籍している職員が分かりやすい掲示物の設置を早めに行っています。
2	地域や保護者間のつながりが薄いと感じられやすい。	保護者対象の研修会が未実施であること。 他施設との交流の機会が少ない。	今年度は公園遊びの外で保護者参加型のイベントを実施する、他施設と遊び場所を共有する、プライマリー間で合同イベントを実施するといった形式で取り組んできました。 次年度も引き続きイベントを実施する予定です。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 プライマリーclubやちよ中央

公表日 2025年3月31日

利用児童数 30人

回収数 21名 (70%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	6			基準に定められたスペース以上の広さを確保しておりますが、必要に応じて他施設を借りる等引き続き工夫して対応致します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	7		退職される先生もいらっやあって、人数が足りてるとかわからない。	基準に定められた人員を確保し、配置しておりますが、児童の特性や人数に応じて配置を配慮できるよう努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	2	1		身体的な不自由を抱えた方は利用対象としておらず、構造上段差もありバリアフリー化はされていません。児童が見通しをたてられるよう活動内容を掲示したり、場面に応じて視覚的支援等児童が理解しやすいよう工夫を行っています。児童の特性に応じた環境上の配慮は今後も継続してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	3		落ち着くように場所を作ってくれている	活動で使用した道具や室内、車内の掃除、消毒は毎日実施しております。エアコンの掃除や活動中に換気や加湿などの感染症対策も実施しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	7		子どもの特性に寄り添っていている	日々の様子やアセスメントを基に、児童一人ひとりの課題に合う支援方法を提供できるよう共有しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1			2025年2月にホームページに公表致しました。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	2			3月よりアセスメント様式を見直しし、よりニーズや課題を客観的に分析し個別支援計画を作成できるよう努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	2			令和6年度よりガイドラインに沿った必要な項目を設定し個別支援計画の策定を実施しています。
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	3			毎日記録する画面で計画書を確認しながら支援できるようにしていますが、実際の支援では計画書内容の視点、支援がぬけてしまっていると感じる場面もあるため、計画内容を実際に支援に落とせるよう共有方法を再度要検討致します。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	5			年間プログラムをカリキュラムとして実施しています。繰り返し行うことでの支援もあるため、固定化されている物もありますが、児童に合わせて工夫をするよう努めてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	6	5		放課後児童クラブや児童館との交流公園に外出した際や、おでかけのイベントの際には地域の他の子どもとの交流はあります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1	1		契約時にご説明した重要事項説明書が運営規定の内容となっております。また、支援プログラムにつきましては2025年2月にホームページに記載いたしました。
	13	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	3	1		モニタリング結果と共に、計画書の目標等ご説明をしておりますが、ご不明点や疑問点があればいつでもお問合せを頂けたらと思います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	5	8	家族支援は聞いた事ないです	ご家族向けのプログラムは実施しておりませんが、イベント等のご参加は今後もお声掛け致しますので、ぜひご参加ください。また、研修会や情報提供等のお知らせも今後はHUGマイページから行えるよう努めてまいります。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	16	3	2		個別支援計画を基に、特性や課題について共通理解を図っています。日々の様子については、送迎やお電話にてお伝えしたり、HUGマイページにて記録しお伝えさせて頂いておりますので、気になることがございましたらいつでもご連絡下さい。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	6	2	助言されると感じた事はありません。助言を必要と感じた事はありません。	送迎時やお電話での相談、面談の実施等にて相談も受け付けております。相談時には保護者様や児童の不安や疑問を解決できるよう努めてまいります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	4	1		業務的支援はされてると思っております。共感を感じた事はありません。	集団カリキュラムを通して、将来の自律を目指して児童一人ひとりの課題や目標に応じた支援を実施しています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	7	9		今の所必要ないと思っております。	父母会や保護者会などは開催出来ておりません。きょうだいや保護者様参加型のイベント等は開催の際にお声掛けさせていただいておりますので、ぜひ交流の機会としてご参加ください。また、きょうだいのご相談も合わせて行うことが出来ますので、面談もご相談ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	7	1		今まで相談をした事があつたが覚えていません。	ご要望等があつた際には事業所として対応できるよう体制を整えております。ご相談があつた際には早期の対応を心がけてお不安や疑問が解消されるよう努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	5				児童の特性に合わせて、必要に応じて視覚、聴覚情報を組み合わせるようにはしております。保護者様へのお知らせは、お手紙やお電話、HUGマイページのお知らせを使い分けながら複数回お知らせできるよう努めていますが、漏れないよう配慮致します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	1		分かりません。	下記内容が閲覧できます。 ホームページ：自己評価、支援プログラム、重要事項説明書、営業所情報 Instagram、ブログ：活動の様子、お知らせ HUGマイページ：お子様の様子、お知らせ、安全計画等
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1				個人情報適切に取り扱い、職員とも同意書を交わし、取り扱っております。ボランティアや実習生等外部の人を迎える場合は必ず個人情報の注意事項に同意いただいております。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2				厚生労働省、こども家庭庁の通知に従い、各種マニュアルを整備しています。保護者様には契約時又は、訓練時に都度ご説明しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21					非常災害用リュックを営業所で準備し、避難訓練は地震と火事を想定して年2回実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	5				安全計画と防犯安全対策指針マニュアルを整備しております。安全計画についてはHUGマイページにて4月に公開し、防犯訓練を年1回実施しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	4	1		事故等の機会がない。	怪我や体調不良を含む児童の変化については、送迎時口頭、電話、メール等でお知らせしております。連絡が付かない場合は何度かご連絡する場合がございますので、ご了承下さい。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	1	2			お子様が安心して過ごせる場所として、これからも環境整備及び児童の特性や年齢に配慮できるよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	1			年齢や特性以外にも思春期にさしかかり、来るのが億劫と感じることもあるようです。気持ちに波があるときもありますが、笑顔で過ごせるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	3	1		他の児童の送迎があるからと、下校から事業所到着まで車で待機や到着が遅くなるということが多くいのかんじます。サービスの提供的はどうなのか疑問に感じます。	日頃より事業所の運営にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。児童の自律の為これからもより良い支援を提供できるよう精進いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	プライマリーclubやちよ中央		公表日		2025年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		児童との間隔は適当である 児童一人一人が運動できるスペースを確保している。	基準で定められた以上のスペースは確保していますが、死角が多いため、鏡をつけるなど対応が必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		他clubと人員を確認している 職員人数は適切になったが知識・経験を積みながら安心して働いてもらえるようにしていきたい。 人員基準にそって適切に配置している。職員室に入る時は他の指導員に声をかけている。	基準で定められた児童指導員と加配の指導員を配置しているが、児童の特性や人数に応じて配置数を考えていきたい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		トイレや流し台に踏み台を設置している。漢字にはルビをふっている 玄関床のねじ止めが緩みやすい点は今後も欠かさず点検を行う 出入口には段差がないようにしている。 トイレの入口に段差があるが踏み台を設置している	身体的な不自由を抱えた方は利用対象としておらず、構造上段差もありバリアフリー化はされていません。児童の特性に応じた環境上の配慮は今後も継続が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		児童の様子に合わせて座席を変えている 定期的な清掃がされており、適切であると感じる 朝と児童が帰った後に清掃を行なっている。 運動しやすいように広い空間を確保している。 毎日清掃、消毒を実施	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		パニック等になってしまった児童などに静養室や職員室など落ち着ける場所の確保をしている。必要な時も密室にならないよう注意を払っている クールダウンしたり体調不良時に休める静養室があります	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		毎月、担当者会議を開催している 職員全体からの意見、視点が集約されている 朝礼時に目標の確認を行い、送迎終了後に話し合いを行なっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者の意向を把握するにあたってご家族の状況も踏まえて方法を配慮しながら、その都度支援を行っています。 毎年12月に保護者アンケートを配布し、意見を集め、改善に取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	都度ミーティングを開催します 気軽に意見を発信しやすい環境であると感じる。毎年12月に職員アンケートを配布し、意見を集め、改善に取り組んでいる。	意見を業務改善に反映する流れが見えにくいことがあるので、共有することが必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	法令遵守のため、顧問弁護士に相談を実施しています。	第三者の評価については実施しておりませんが、必要な際には第三者の外部評価も検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		毎月、研修をおこなっている 定期的な研修の機会が用意されている	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	作成されている 前年にプログラムを改善したが今後も細かな改善を行っていく 体育、德育、知育などを組み合わせて作成し、支援プログラムについては、5領域を踏まえ2025年2月にホームページに掲載し公表しました。	今後も内容の見直し等を実施していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保護者と面談を実施したり、書面にて保護者に確認をしている 児発管、指導員ともに客観的な分析にかかわっている 担当者会議で話し合いを行い、作成している。	

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		毎月、担当者会議を開催している 児発管、指導員ともに意見の発信ができてい る 担当者会議で情報共有をして、検討を行なっ ている。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		職員間で共有出来ている 常に個別支援計画を確認できるようになって おり、計画に沿った支援が行われている 朝礼時などに職員間で情報共有を行い、計画 に沿った支援を行えるようにしている。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		フォーマルなアセスメントに、備考としてイン フォーマルなアセスメントをとりまとめてい る HUGを使用して日々の行動を記録している。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		担当者会議で項目の確認を都度行なっている 保護者と面談を行い、具体的な支援内容を設 定している。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		チームで話し合いを行い内容を設定できてい る。 営業所内で話し合っ、プログラムの立案を行 なっている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		週ごとに変更している 利用する児童の状況をみながら適宜変更して いる 週ごとにプログラムを変えて、固定化しない ようにしている。 イベントで外出や創作活動を行ってます	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		「集団療育型」であることに留意しながら支 援を行っている 児童の成長にあわせて、個別に指導員がつく などをしている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		始業時ミーティングを必ず行い、スケジュール やリスクマネジメントを確認している 朝礼時に打ち合わせを行い、注意点や役割分 担を確認している。 毎日朝礼を実施してます	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		終業時も終礼ミーティングを行ない、その日 の気づきを集約している 終礼時に児童対応や気付いた点を共有して、 HUGに入力している。 毎日終礼を実施しています	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		基本的に気になることはHUGの共有欄に書き 残している 毎日、一人一人の記録をHUGに残して、終礼 時などに共有をして改善につなげている。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		6ヶ月以内に一度、担当者会議にてモニタリ ング実施している 担当者会議の際に個別支援計画の見直しの必 要性を話し合い、判断を行なっている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		カリキュラム作成時に対応している基本活動 を選定している 体育、德育、知育などを組み合わせて支援を 行なっている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		創作活動など、飾りつける物や貼る位置は自 己選択、自己決定できるように支援している 基本、「どうしたい？」を引き出すように心が けている 体育やイベントなどで参加するか、見学する かを自己選択できるように工夫している。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		指導員、所長、児童発達管理責任者以外にも 相談支援事業所の方も積極的なモニタリング を実施してくださっていると感じる。 子どもと関わりがある者が会議に参加してい る。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて連携を行っている 学校と連携を行い、支援を行なっている。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		送迎時に担任の先生との情報共有や学校だ よりをコピーさせてもらって、学校行事や下校 時刻を確認している。	学校からの情報が保護者相手のみに電子化さ れ提供されていることが増えているため、情 報の受け取り方を工夫したい

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	保護者から支援記録をいただくことはあった現在は就学前に利用していた施設等に連絡を直接は行っていないが、保護者を通じて就学前の様子を確認している。	保育所や幼稚園などは、情報共有はしていない為、今後実施していく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3	障害福祉サービス事業所へ移行する児童がいない。高学年の放課後等デイサービスに移行する児童の情報は共有している	対象の児童がおらず未実施 現在、該当する児童はいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3	児童情報の連携はとっている 児童の情報共有を行い、助言などを受けている。	児童発達支援センターとの直接的な交流はまだありません。積極的な情報共有がされていないこともあるため、保護者様に理解をいただき情報共有を進めていけるよう努めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	早帰りの日などは公園へ外出する時がある 「活動する機会」を用意しているわけではないが、外出時利用児童の自己選択の結果交流が成立していることがある。 イベントで公園に行ったときは地域の児童との交流があります。	感染症対策の為、外部との交流は控えている。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	自立支援協議会には参加できていませんが、議事録をホームページ等で確認しています。 他放課後連等には加盟しております。	今後実施予定 現在、参加していない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時の伝達や、HUGのコメントを通じてコミュニケーションをとっている 送迎時などに情報共有を行い、面談などで児童の発達状況や課題について話し合いを行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	研修の機会は確保できていないが、必要に応じた情報提供は行っている	現在、行っていない。 現在行っていないが来年度は計画予定です
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		見学时、契約時、以降も必要に応じて説明を行っている 運営規定に記載してある内容を記した重要事項説明書を利用時に保護者様へ説明を実施しています。カリキュラム内容についても説明を行っています。	提供記録(HUGアプリマイページ)にログインして閲覧できていない保護者様もいるため、より多くの保護者様が見ることができるよう周知方法等改善が必要。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面談を通して意向を確認している 送迎時や電話連絡等の機会にお伺いしている 送迎時や面談などに保護者や児童に意向の確認を行なっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		文の意味が伝わるよう、意図も含めて説明を心がけている 送迎時などに説明を行い、保護者から同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		必要に応じて面談のお声かけを行なっている 面談などを行い、悩みの相談や助言をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4	今年度は未実施。家族の同伴ができるイベント内で交流していただくことはあった 現在、保護者会などは開催していないが、外出イベントで保護者も参加できるようにしている。 外出イベント時には保護者参加の声かけを実地しています	父母会など定期的な活動はできていません。 保護者様同士での交流が出来るよう今後計画等要検討
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		迅速に対応できている 苦情を受けた際はスタッフ内で話し合い、適切に対応をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		Instagramの更新を行っている HPやHUG、インスタを活用して、発信を行なっている。 Instagram、マイページにて公表し、紙媒体でもお知らせを配布しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		保管場所、保護者のやりとり等留意している 個人情報について、研修を行い、SNSの写真などにも注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		HUG以外の連絡手段を利用している家庭がある(電話、SMS、LINE) イラストなどを使用して、視覚的に分かりやすくしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	3	1	ボランティアや介護実習生の受け入れを実施しています	行事に地域住民の招待はできていませんが、実習生やボランティアの受け入れを実施しております。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		定期的な訓練実施をしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		避難訓練は行事扱いで定期実施している 定期的に訓練を行なっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時のフェイスシート作成時、利用中も送迎時のやりとり等で把握している 契約時や面談時に確認を行なっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	フローチャートを作成している 重篤でないという理由で定期的な病院受診していない児童が多い。エピペンの有無確認、調理時の材料配慮等は行なっている 契約時や食育イベント前に確認を行ない、対応を行なっている。	食事の提供はありませんが、症状等必要に応じて出来る限りの対応を致します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		定期的な訓練を実施している 定期的に研修や訓練を行なっている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		避難訓練実施前には安全計画の配布を実施している 避難訓練などの際におたよりを配布して、避難先などを説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		事業所だけでなく本社データベースを通じ、別営業所とも共有を行なっている 朝礼時などにヒヤリハットの確認を行い、情報共有をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		定期的な研修を実施している。また子育て支援課と連携をとっている 研修などを行い、適切に対応できるようにしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		契約時の確認、ルーム内掲示といった形で常に職員保護者児童問わず確認できるように なっている。 契約時にやむを得ず身体拘束を行う場合の説明を丁寧に行なっている。		